

第20回

西高フォーラム

公開シンポジウム

入場無料

先着300名様
まで

AIの現在と未来

～日々進化するAIと我々はどう向き合っていくか～

一般財団法人西高会が、地域の皆様に発信している文化事業です。
地域の皆様のご来場をお待ちしております。

AI (Artificial Intelligence 人工知能)の登場により、私たちの生活や社会は劇的に変わりつつあります。
その進化はとどまるところを知らず、期待と同時に「これからどうなるか」という思いを抱いている方も少なくないでしょう。

今回20回目を迎える西高フォーラムでは、各界の第一線で活躍する3人のパネリストを迎えAIの今とこれからの
多角的に語り合っていきたいと思えます。世代を超えて未来を展望する貴重なひとときをともに過ごしませんか。

2026

6/6
Sat

13:00~16:30

開場/12:30~

駐車場はありませんので
車での来場はご遠慮ください。

プログラム

1部

13:00~15:00

3人のパネリストによるフォーラム

15:00~15:15 15分間休憩

2部

15:15~16:30

パネリストと西高生による
質疑応答とディスカッション

日時: 2026年6月6日(土)

会場: 都立西高 視聴覚ホール

杉並区宮前4-21-32 (井の頭通り沿いの都立西高・正門を入れて左側の建物です。)

問い合わせ先

西高会 03-3332-1688

(月~金 9時から16時まで)
土日・祝日休み

主催: 一般財団法人西高会

後援: 杉並区教育委員会

協力: 都立西高同窓会

コーディネーター 兼 パネリスト



さかもと まき

坂本 真樹



国立大学法人電気通信大学副学長

プロフィール

1998年東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻 博士課程修了(博士(学術))
東京大学助手、電気通信大学講師、准教授を経て、2015年より電気通信大学大学院 情報理工学系研究科教授。
2020年より副学長。2018年5月、感性AI株式会社創業 取締役COO。2024年6月、ソフトバンク株式会社 社外取締役役に就任。
人工知能学会理事、内閣府AI関連委員会委員などを歴任。人工知能学会論文賞など受賞多数。
感性に着目した生成AIと分析系AIの開発と応用、および物理空間とサイバー空間の融合の実現を推進。
著書「坂本真樹先生が教える人工知能がほぼわかる本」の一部は国語の教科書に引用される。
NHKラジオ「子ども科学電話相談」準レギュラー。

メッセージ

西高を卒業して38年も経つとは思えないほど、ヒトと人工知能が共存する未来に向けて、
高校生の時以上にワクワクしながら、感性AIの研究者としての毎日を楽しんでいます。
みなさんと一緒に過ごせるフォーラムを楽しみにしています。

パネリスト



よしかわ たいぞう

吉川 泰三



・株式会社本田技術研究所 先進技術研究所 エンジニア/研究員
・IEEEロボット・オートメーション学会
ヒューマン・ムーブメント・アンダースタンディング技術委員会 委員長

プロフィール

東京都立西高を卒業後、早稲田大学理工学部、同大学院機械工学専攻を修了。
日立製作所を経て本田技術研究所基礎技術研究センターへ入社。
人型ロボットP3・HRP-1・ASIMOの全身コンプライアンス制御技術開発を牽引。
2000年～2013年までスタンフォード大学との共同研究を推進。
ロボティクス界のパイオニア Oussama Khatib 教授の指導のもと、機械工学科大学院PhD(博士)コースを修了し、人型ロボットASIMOの動作制御技術の学術的な体系化を推進。
現在、本田技研研究所で遠隔操作等の最先端ロボット開発や、AIによる歩行支援技術の研究を続ける傍ら、学術研究団体IEEE ロボティクス・オートメーション協会の人の動作に関連する技術領域の技術委員会議長として、国際的な技術発展にも寄与。

メッセージ

技術の進化が加速する現代では、10年後にどのような技術が発展しているのかを正確に予測することが難しくなっています。だからこそ、AIやロボティクスの未来を自ら思い描いてみるのが重要です。その過程を通じて、西高の皆さんがこれから何を学び、どのような力を身につけていくべきかを考えるきっかけになればと思っています。

パネリスト



かわしま いずみ

川島 和澄



オギクボ開発株式会社 代表取締役

プロフィール

2004年3月 東京都立西高等学校 卒業。
2008年3月 電気通信大学情報通信工学科 卒業。
2010年3月 東京大学大学院情報理工学系研究科創造情報学専攻 修了。
2010年4月-2015年5月 ジョルダン株式会社
2015年6月-2016年5月 個人事業主(屋号「オギクボ開発」)
2016年6月-現在 オギクボ開発株式会社 代表取締役

メッセージ

一見するとAIとは関係なさそうなソフトウェアを開発する会社を経営しております。川島と申します。
近年の急速な技術発達によって、近いうちに人類が担っていた仕事を半分は駆逐すると噂されるAIですが、それならばと既存の社員を全員クビにしてAIに置き換えてしまった零細企業の最高権力者は、その後、目も当てられぬほど悲惨な末路を辿ることになる…。曲がりなりにも会社を経営する身としては、そんな背筋が凍りそうな事態をなんとか避けねばならないわけですが、そもそも、この陳腐なシナリオはどれほど現実味のあるお話なのだと思いますか？
これに限らず、AIに関して皆様とお話できればと思っています。宜しくお願いたします。